

# 新宿御苑のみどころ 晩秋

新宿御苑は、徳川家康の家臣・内藤氏の江戸屋敷の一部がそのルーツといわれています。明治に入り、農事試験場を経て、明治39年(1906)に皇室の庭園となり、戦後昭和24年(1949)に国民公園として一般に公開されました。園内には、風景式庭園、整形式庭園、日本庭園と異なる3つの庭園が巧みにデザインされ、明治を代表する近代西洋庭園といわれています。

←新宿駅(10分)  
←新宿三丁目駅(5分)  
新宿御苑前駅(5分)→

新宿門

インフォメーションセンター(入園ゲートの外にあります)

(ナショナルパークスディスカバリーセンター/ナショナルパークスカフェ アンダーザツリー/アートギャラリー)

←新宿御苑前駅(5分)

大木戸門



案内窓口	食堂	ベビーアールーム	一般用トイレ
案内標識	喫茶軽食	マイボトル給水器	車椅子対応
券売所	売店	AED	オムツ交換台
コインロッカー	自動販売機	場所ナンバー	オストメイト
公衆電話	無料wi-fi	現在地確認用	

○ ○ ○ ... 花 ● ... 実

● ● ● ● ● ... 紅葉

(印の色は花・実・紅葉した葉の色の目安)

— 砂利道など

● ● ... 歴史的な巨樹

○ 広さ58.3ha (約18万坪)  
○ 周囲3.5km

